

議員全員協議会視察研修報告

日時 平成 23 年 7 月 11 日（月）～ 13 日（水）

研修先

山梨県南アルプス市

山梨県南アルプス市の消防署を視察した。懸念されるのは釜無川断層の連鎖で、東海地震の際には、震度六以上も予想されるとのことであった。

消防署そのものは、新築されたものであり、建物だけで、十三億円を要しただけあり立派な消防署であった。仮眠室、出勤準備室、車両への動線も合理的に配置されていた。

和歌山県白浜町

和歌山県白浜町消防庁舎は、地震・津波対策に対する防災拠点として、警察署・空港に隣接した高台を選定し建てられていた。

女性隊員も独りおり、救急救命士の資格も持ち、男性署員に比してなんら遜色はないとのことであった。牧之原市でも、女性隊員の育成を考える時かもしれない。

三重県大紀町

三重県大紀町の避難タワー（錦タワー）を視察した。この町は、昭和 19 年の津波で 64 名の死者を出している。その教訓から、町は 22 各所に、海岸近くの低地から、直ちに避難できるように高台への階段が整備されている。日の出地区だけは、四方を川に囲まれ津波襲来の際は逃げ場がない。そこでこの地区だけに避難タワーが作られた。

長野県松川町

友好姉妹都市松川町とこのたび災害協定を結んだ。

市長は、他の公務のため副市長と松川町長との間で協定書が取り交わされ、両市町の議員出席の下、厳粛のうちにも、和やかに調印式が執り行われた。協定書の内容は、相互に、災害時の生活必需品、必要とされる車両等の提供、被災児童、生徒のための一時受け入れのための施設の提供など八条からなっている。この後、市から持参したお茶を入れ議員たちに飲んでもらい、牧之原茶の紹介に努めた。

議員によっては、他の交流団体に託されたメッセージを渡す人もあり楽しい会となった。



南アルプス市消防庁舎



南アルプス市消防庁舎訓練塔



友好姉妹都市 長野県松川町役場



お茶振興課職員・議員による
牧之原茶のおもてなし（長野県松川町）



白浜町消防庁舎通信司令室



白浜町消防庁舎



収容人員 500 名の 5 階建て避難タワー



大紀町錦タワー集会所